

IES(いわて環境マネジメントシステム・スタンダード)等による環境教育

取組内容

- ・平成21年4月に取得した、I E Sステップ2による環境教育を学生及び教職員に毎年行っている。
- ・地震等の緊急時における環境への影響を想定した訓練を実施している。
- ・一関市・地方振興局・地元企業等で構成される「ふれあいエコ・ゼミナール実行委員会」に一関高専も構成委員となっており、環境教育等について小中学生や一般市民へ講演や講座を行っている。



「環境と科学のひととき～親子で楽しむエコサイエンス～」と題した、小中学生を対象とした講座を行った。

環境教育による効果

- ・ゴミの分別
可燃・不燃・缶・ビン・ペットボトル
- ・古紙の回収・再利用
年間約18,520kg (CO₂の削減)
- ・昼休みの消灯 など



環境管理責任者による、学生への環境教育(1年生)。

資源回収BOXの設置



分別種類毎のゴミ箱とゴミ集積所

コピー機・印刷機の設置場所に資源回収BOXを設置し、資源の再利用を図っている。
平成24年度は、新聞・雑誌・ダンボール等を含め18,520kgを回収した。
CO₂排出削減量は、15,556kgとなった。



次年度へ向けた取組

本校が定めた環境改善目標を達成するため、エネルギー(電気・水・LPガス・A重油)の使用量を抑え、CO₂排出量の削減に努める。